



7年度に開館予定の生涯学習複合施設の館内イメージ

第3回定例会

令和6年第3回定例会は、9月5日に開会し、「門真市附属機関に関する条例の一部改正について」など市長提出議案28件について慎重に審議しました。
この結果、決算関連議案5件は、決算特別委員会を設置の上、付託し、閉会中の継続審査となり、その他の議案はいずれも原案のとおり可決、承認及び同意し、9月24日に閉会しました。

生涯学習複合施設の家具調達事業者の選定委員会を 設置する附属機関条例の一部改正^{など}23議案を可決

専門家による家具選定!!
調達事業者選定委員会を設置

門真市附属機関に関する条例の一部改正については、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、仮称門真市立生涯学習複合施設に設置する家具の調達事業者を選定するために必要な事項についての調査審議に関する事務を担当する仮称門真市立生涯学習複合施設家具調達事業者選定委員会を設置するとともに、附属機関の委員の報酬額を定めるものです。

(議決結果) 全員異議なく可決
(民生水道常任委員会 審査概要)

問 選定委員会設置の経緯は。

答 同複合施設は新たなシンボルとして、まちのイメージを高めるデザインを目指し設計しており、ゆとりある滞在型の施設として、建物の外観だけではなく内装のインテリアデザインにも力を入れている。
他市の公共施設を研究する中で、インテリアにおける家具の重要性を再認識し、専門家による家具選定が必要と考え、大阪市の事例を参考に選定委員会を設置するに至った。

問 選定委員会の構成は。

答 建築・インテリア・プロダクトデザインのそれぞれの専門家や市職員を予定している。

問 どのような家具を選定しているのか。

答 施設の内装デザインは、アルミルバー天井やコンクリートパネルの壁等、外観デザインと連動したモノトーンを基調としている。

これらのデザインと調和する家具の提案を求めるとともに、文化芸術振興におけるアートやデザインの重要性を示し、建物と共に永く残る資産として後世に残していくために、耐久性と意匠性に優れた家具を選定する。



市立図書館を 新たな2館体制へ進化

門真市立図書館条例の一部改正については、門真市立図書館について、本館及び分館1館の体制を見直すものです。

(議決結果) 全員異議なく可決
(民生水道常任委員会 審査概要)

問 北島図書館の位置づけは。

答 門真市立図書館運営方針において、市直営による図書館運営

もくじ

- 議案審議等の概要……………1～3ページ
 - ・附属機関に関する条例の一部改正、図書館条例の一部改正
 - ・市民交流会館条例の一部改正、一般会計補正予算、人事案件
 - ・動産の取得(追認)など
- 一般質問・所管事項の質問……………3～7ページ
- 議決結果、議会活動日誌……………8ページ

問 公共施設再編計画との関係は。

答 同計画に基づく門真市民プラザの再編に伴い、現在の図書館本館の2階部分と市民プラザ分館を集約し、旧砂子小学校校舎跡地へ移転する。

資料については、本館2階の参考資料室の約3万点及び図書館分館の約6万点を旧砂子小学校大規模改修工事の後に移転し、新たな図書館として市直営による運営を行うこととしている。



歴史資料館の移転に伴い
中塚荘を廃止

門真市立市民交流会館条例の廃止については、門真市立歴史資料館を移転し、門真市立市民交流会館の機能の一部を統合した施設を整備するに当たり、同館を廃止するものです。

(議決結果) 全員異議なく可決
(民生水道常任委員会審査概要)

中塚荘の廃止理由は。

公共施設等マネジメント戦略会議の公共施設を複合化・集約化・多機能化する基本方針に基づき、歴史資料館を中塚荘に移転・集約することを決定した。8年度の開館に向け、改修工事等移転整備を行うため廃止するものである。

歴史資料館の充実について、市の考えは。

文化的な意匠を承継しつつ改



歴史資料館の移転先となる現在の中塚荘

修作業を進め、内装の意匠を生かした展示スペースとなるよう設計作業を進めている。

展示内容は展示室ごとに特徴を持たせ、あわせて、展示内容や本市の歴史、文化財についてより深く知るための講演会や各種講座を実施する予定である。また、文化活動等を行う市民や放課後の子どもたちにも利用を促すことで歴史や文化に触れられる機会を創出していく。

6年度補正予算
(一般会計補正予算(第7号))

(議決結果) 反対討論の後、賛成多数で可決

(民生水道常任委員会審査概要)

就職による新生活準備の
給付金を支給へ

進学・就職準備給付金の概要は。

生活保護世帯の子どもの本人の希望を踏まえた自立支援のため、高等学校卒業後、進学者に加え、就職者も新たに支給対象となる。

新生活立ち上げ費用として出身世帯の住居から転居する者に30万円、その他の者に10万円を支給するものである。

受給要件は。

大学等に進学する者やおおむ

ね6月以上雇用されることが見込まれ、かつ、最低限度の生活を維持するために必要な収入を得ることができると認められる職業に就く者である。

周知方法は。

今回の法改正は6年1月1日に遡及適用し、5年度に高等学校を卒業した者も対象となるため、対象世帯へ個別で連絡し、丁寧に周知を行っていく。

乳児の健康保持と増進のため
1か月児検診を実施

実施に至った経緯は。

出生後から就学前までの切れ目のない健康診査の実施体制の整備を目的に、国が1か月児健診を母子保健医療対策総合支援事業に位置づけたためである。



事業の目的は

身体疾患が顕在化する時期に疾病や異常を早期発見、適切な指導を行うことで、その進行を未然に防止するとともに、養育環境を評価し、養育者へ育児に関する助言を行い、乳児の健康保持・増進を図ることを目的に、従前の乳児一般健康診査に代わ

り実施するものである。

事業の概要は。

生後27日を超え、6週に達しない乳児を対象に、原則、医療機関で実施する個別健康診査であり、自己負担額は無料である。

(総務建設常任委員会審査概要)

舟田町公園の移設に伴い
掘削された埋設廃棄物を処分

舟田町公園移設の経緯は。

公園へのアプローチや老朽遊具の課題があり、隣接地の開発協議の中で、同公園を開発区域に含め、同等以上の新たな公園を整備する申出が開発事業者からあった。

市においても、同公園の課題解消に加え、公園面積の増加が見込めることや、にぎわい型の機能の充実に資する内容であったことから移設を承認した。



移設後の公園について、地元
の声を反映した点や変更点は。

公園西側のフェンスを可能な範囲で高くするとともに、面積を既存公園よりも113・36㎡増加、南側にスロープと階段を

設置、老朽化したブランコやベンチなどの遊具についても更新予定である。

7月末の工事完了予定日から
遅れた理由は。

事業者理由に加え、埋設廃棄物の処分検討に時間を要したことが要因である。現在、事業者より完了予定日は12月末と確認している。

埋設廃棄物の積込業務と運搬
処分業務の委託料の概要は。

同公園を開発区域に含んだ民間開発事業において、掘削作業時に地中1mから2mの範囲に廃棄物が確認された。

既存の公園用地より掘削された廃棄物は、土地所有者である市に処分責任があるため、埋設廃棄物の積込みと運搬処分に要する委託料を計上した。

廃棄物のダイオキシンの分析
結果は。

1g当たり260ピコグラムが検出されたが、環境基準の1g当たり1000ピコグラム以内の値となっている。

公園の安全性の確保は。

廃棄物を1m以上の表土で覆っており、廃棄物が露出や飛散するおそれのない安定した状態のため、安全と判断している。

市役所本館に

非常用発電機を設置へ

設置工事の概要は。

庁舎エリア整備に伴い、別館及び現非常用発電機を撤去する必要がある、8年度より災害対策本部を別館3階から本館2階へ移転予定であることから、7年度に新たな非常用発電機を本館の北側に設置するものである。



(その他の質疑項目)
・密集市街地整備事業に係る歳入歳出予算の減額について など

人事案件に同意

〈教育委員会教育長の任命〉

八木下 理香子

本件は同委員の任期が6年9月30日をもって満了することに伴い、提案されたもので、任命に同意しました。

〈教育委員会委員の任命〉

服部 雅俊

本件は前任委員の任期が6年9月30日をもって満了することに伴い、提案されたもので、任命に同意しました。

必要な議決経ずに購入した
教師用指導書の議案を追認

左表の動産の取得について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決（追認）を求めるものです。

（議決結果） 全員異議なく可決

（文教こども常任委員会審査概要）

追認の議案を提出することになった経緯は。

従来、教師用指導書は教科書採択の年の翌年度の当初予算で購入しており、2年度より前は2000万円未満で購入できていたため、契約行為に係る議決の必要性を有していなかった。近年の物価高騰やデジタル教科書の導入等により指導書の価格が上昇し、2年度から2000万円を超える購入価格となり、

追認した動産の取得		
議案番号	議案第72号	議案第73号
取得する動産	小学校用指導書 1,703冊	小学校用指導書 1,793冊
取得価額	24,851,530円	34,549,460円
取得の相手方	門真市幸福町 11番9号 株式会社かたの書房 門真支店	門真市幸福町 15番15号 株式会社かたの書房 門真支店
契約日	令和2年4月1日	令和6年4月1日

議会の議決対象となったものの、関係法令等の認識を欠いていたため、従来の事務処理を踏襲してしまったことから、事務手続において過誤が発生することとなった。

今後の対応は。

予算確保の時期について見直しを行う必要があることから、教科書採択が行われる7月と指導書の概算価格が判明する10月を待って、同年中に補正予算を提出していく。

同補正予算議決後、教科書を取り扱う取次供給所と指導書の購入に係る仮契約を結び、3月議会において本契約の議決を得て、次年度当初には学校に納入できるよう対応していく。

決算 特別委員会設置

今回の定例会に提案された令和5年度の決算関連議案5件については、慎重に審査する必要があるため、決算特別委員会を設置し、閉会中の継続審査を付託しました。

決算特別委員会委員構成	
委員長	岡本 宗城
副委員長	森 博孝
委員 (議席順)	池田 治子
	坂本大次郎
	豊北 裕子
	後藤 太平
	大倉 基文
	五味 聖二

本会議 総務建設 民生水道 文教こども

一般質問・ 所管質問

9月24日の本会議において、17名の議員が市政に対する一般質問を行いました。
また、9月9日、10日、11日の各常任委員会において、14名の議員が所管事項に対する質問を行いました。
本会議または各常任委員会で行われた主な質問と答弁の要旨を3面から6面に掲載しています。（議席順）

質問・答弁の詳細な内容については、市議会ホームページをごらんください。
※第3回定例会の会議録は11月下旬に掲載する予定です。

本会議



深井 弘晃
(真政会)

スマートシティ推進について

事業内容は。

デジタルIDとしての仮称門真市アプリ、スマートフォンなどで健康に関する情報を一元的に管理するPHRアプリ、AIによる栄養指導が可能な食事管理アプリ、服薬管理を行うアプリを地域実装し、健康意識の向上や行動変容を期待するものである。

個人情報に係る対応は。

仕様で詳細にセキュリティ要件を定めており、共同事業体の代表企業である東和薬品株式会社は、

本会議



片平 恭子
(大阪維新の会)

乗合タクシー、ワゴン型バス
アンケートとルートについて

それぞれのアンケートについて、多かった意見は。

乗合タクシーでは京阪各駅への乗り入れの要望が多く、ワゴン型バスでは市役所、ららぽーとを通るルート設定の要望が多かった。

現ルートに沖町郵便局からライフ方面へ行き、第二京阪道路をくぐり抜け、弁天池公園方面へ進むルートは多くの人が望んでいると思われる。アンケート結果を踏まえた市の考えは。

本会議



大西 康弘
(真政会)

シニアカー購入助成と道路の
安全確保、整備方針について

バス路線の廃止等が進み、本市でも乗合タクシーやルートワゴン型バスなどの実証実験が行われているが、公共交通の維持・確保が困難となる中、高齢者を中心に買い物や通院等日常移動手段として地域の多様な移動ニーズに応じた移動支援策の検討が必要であり、その一つとしてシニアカーがある。高齢者が自立した健康な生活を営むための支援、社会参加の促進、フレイル予防を図る目的で、シニアカーの購入助成が必要と考えるが、市の見解は。

高齢者の社会参加の促進や安全な移動に伴う負担軽減も考えられることから、先行事例を参考に調査研究していく。

シニアカーや椅子が歩行する道路の安全確保と整備方針は。

交通安全対策事業として歩道の有効幅員の確保や段差の解消、舗装の改修等を行っている。道路法に基づく歩道の一般的構造に関する基準では、車両乗入れ部分は原則1m以上の連続した平坦部分を設ける、横断勾配は2%を標準とする、横断歩道に接続する段差の高さは2cmを標準とするなどが示され、これらの基準に適合するよう道路の整備や改良に取り組む。

提案のルートも含め改善に向けて検討していく。

子どもの見守り体制について

教職員が子どものSOSを受け取る生徒指導体制の構築について、市の取組は。

自分の心身の危機に気づき、適切な援助希求行動に移ることが大切であると考え、「困った時は一人で抱え込まず助けを求めてもよいこと」、「いろいろな人や機関に相談できること」などSOSの出し方を学ぶ機会を設けている。また、全ての子どもを対象とした門真市版スクリーニングを実施し、専門家や関係機関と連携した適切な対応につなげることで、誰一人取り残すことなく子どもを守る体制づくりに取り組んでいる。

本 会 議



坂本 拓哉
(大阪維新の会)

市内の路上喫煙禁止区域の現状について

問 6年2月に市内全ての鉄道駅周辺を路上喫煙禁止区域に指定したが、禁止看板前での喫煙や吸い殻のポイ捨てなどが見受けられる。指定後の現状は。

答 指導員による巡回や、業務委託により市内全域の吸い殻を含む清掃を実施している。

また、喫煙者に対する指導件数は、7月は20件、8月は17件であり、今後も継続して喫煙者の状況を把握していく。

本 会 議



森 博孝
(真政会)

ふるさと納税について

問 同制度による全国の5年度寄附受入額と受入件数は約1兆1175億円、約5895万件となり、金額、件数ともに伸び続けているが、本市における寄附額の実績は。

答 3年度が約9億8000万円、4年度が約15億5000万円、5年度が約14億8000万円となっており、5年度の状況は、全国的には約16%増加したものの、本市では約4%減少しており、総務省による制度改正や生活必需品の需要増の影響と考えている。

本 会 議



寺西 敬子
(公明党)

四宮小学校・北巢本小学校統合整備基本計画について

問 同計画では積極的に緑化を行うと示しているが、樹木による枝葉や落ち葉が道路等に発生すれば近隣住民には深刻な悩みとなる。全体配置は近隣の意向等を確認しながら、慎重に進めることが求められるが、市の考えは。

答 敷地の形状を踏まえつつ、利用者の動線や利便性、セキュリティへの配慮、良好な自然環境の確保や緑化等、様々な視点を踏まえる必要があると考える。

問 同計画では積極的に緑化を行うと示しているが、樹木による枝葉や落ち葉が道路等に発生すれば近隣住民には深刻な悩みとなる。全体配置は近隣の意向等を確認しながら、慎重に進めることが求められるが、市の考えは。

本 会 議



坂本大次郎
(公明党)

窓口対応について

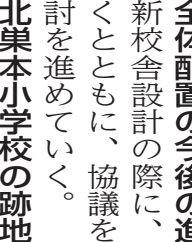
問 窓口での会話が聞き取りづらい人への対策は。

答 わかりやすく丁寧に相手の反応も確認しながら話したり、窓口の状況に応じ、卓上会話支援機、マイク・スピーカーセット、骨伝導ヘッドフォン、メモパッドなど「聞こえ」を支援するツールを配置、活用している。

問 今後の予定は。

答 接遇マニュアルの徹底やツールのさらなる活用等、来庁者が快適な窓口となるよう努める。

本 会 議



寺西 敬子
(公明党)

北巢本小学校の跡地活用について

問 北巢本小学校の跡地活用については、その考えを地域住民に可能な限り早く示すことで、まちづくりにより主体的に関わる機運醸成につながると思うが、市の見解は。

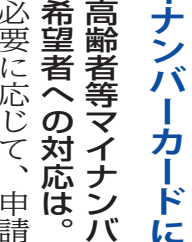
答 同校跡地を含め、学校適正配置により生み出される市有地について、公共施設整備や売却等の活用の方向性を議論する体制づくりの検討が必要であると考える。

問 跡地活用の今後の進め方は。

答 地域住民の意見や財政状況も考慮し将来のまちづくりに資する活用について検討していく。



本 会 議



坂本大次郎
(公明党)

マイナンバーカードについて

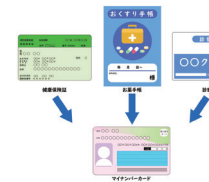
問 高齢者等マイナンバーカード取得希望者への対応は。

答 必要に応じて、申請サポートなどの実施回数増加や、5年度に実施した福祉施設等への出張等を検討していく。

問 増加する電子証明書更新手続の窓口対応は。

答 待ち時間の短縮が図られるよう体制整備を検討していく。

問 マイナ保険証への移行に伴うマイナンバーカードの保険証利用登録への対応は。



市議会の傍聴にお越しく下さい



令和6年第4回定例会の開催予定 (日程は都合により変更となる場合あり)

と き			内 容
12月	2日(月)	午前10時から	本 会 議
	4日(水)		総務建設常任委員会
	5日(木)		民生水道常任委員会
	6日(金)		文教こども常任委員会
	17日(火)		本 会 議 (一般質問)
	18日(水)		本 会 議 (一般質問)

傍聴の受付など(誰でも無料で傍聴可能)

	本 会 議	常任委員会
受付時間	開催予定時刻の30分前から	
受付場所	市役所本館 1 階議場前	市役所本館 4 階議会事務局
定 員 (先着順)	一般席32人 車椅子使用者席3人	10人

議案書の無償提供

定例会の最終日終了後、議場前にて議案書の無償提供(先着10人、1人1部)を行っていますので、ご希望の方は受付担当者まで、お申し出ください。

本会議



池田美佐子
(公明党)

奨学金返還支援制度について

問 若者の地方定着を促す同制度は、本市に定住する選択肢の一つになると思うが、市の考えは。

答 定住要件のみを設定して、同制度を実施することは困難であるが、定住要件に域内企業での就職要件を加えるなど、他市事例も参考に、本市において効果的な制度であるかどうか調査研究していく。

新庁舎における

総合窓口の設置について

問 総合窓口は、自治体の業務効

率化と市民の満足度向上の双方を実現できるもので、複数の手続が必要な場合でも窓口を何度も行き来したり、同じ説明を何度もしたりする必要がない。

対応する人による情報差をなくすべきだと思うが、新庁舎の市民サービス向上に向けた総合窓口の設置について、市の考えは。

答 新庁舎整備に当たっては、窓口機能の集約のほか、ナビゲーション機能等の活用による窓口サービスの平準化、手書き申請書のデータ化等による市民と職員の双方の負担軽減につながるシステムの導入について検討していく。

また、柔軟性を持たせた窓口配置を検討し、よりわかりやすい窓口空間を目指していく。



本会議



吉水 志晴
(大阪維新の会)

門真南ルートワゴン型バスについて

問 利用状況は。

答 5年度の無料運行期間の月平均利用者数は425人であり、有料運行となった6年度、8月までは約297人となっている。

問 ルートとして、例えば門真南駅から門真団地方面、市民プラザ前、沖町、市役所、門真市駅、らぽーと門真を通って、門真南駅へと戻るルートがあれば、市の半分を循環し少しでも市民ニーズに近づくと考えるが、今後の方針は。

答 現在、同事業は社会実験として運行を行っており、今後の本格運行に向けて、利用者を含めた市民ニーズの把握が重要であると考えている。

このことから、利用者等のアンケート調査を実施しており、回答の中には、市役所等を通るルートへの要望も多く見られる。

問 今後の方向性は。

答 より多くの市民に利用してもらうよう、アンケート調査の結果を踏まえた提案のあった市内循環ルートも含め、改善に向けた検討を進めていく。



総務建設



滝井 稔元
(大阪維新の会)

門真市長選挙について

問 7月の市長選挙では、そよら古川橋駅前期日前投票所を1日のみ開設したが、経緯と投票者数は。

答 5年の統一地方選挙等では1階フードコート横に設置していたが、施設のリニューアルに伴い、本市が開設する3階のくらしの相談窓口の休日を利用し設置した。投票者数は1086人であった。

問 3階、かつ1日のみの開設でも投票者数が1000人を超えることから、今後も商業施設等で実施すべきと考えるが、市の見解は。

答 今回の選挙では記載台が1か所のため、くらしの相談窓口を利用できたが、衆議院議員総選挙等、記載台が2か所必要な選挙の開設は困難と考える。

そのため、別施設での開設が可能か調査研究していく。

問 市長選挙は、公用車での啓発活動が少ないと感じたが、投票率向上に向けた選挙啓発の取組は。

答 今回は、長い期間をかけて啓発できる内容を重視して実施したが、そのため、自動車パネルの設置やポケットティッシュの配架に加え、協力のあった商店街でのポスター掲出や、交通量の多い公共施設のフェンスに横断幕を掲げるなど、市民に選挙の実施を周知する取組を行った。



本会議



豊北 裕子
(日本共産党)

公共施設再編計画の見直しを南部市民センターの存続を

問 同計画では、旧砂子小学校跡地に市民プラザ内の各施設や南部市民センターなど周辺の公共施設を集約し36%の縮減を図る計画だが、南部市民センターは現在の場合に残すべき。同センターの移転計画は、砂子小学校区だけでなく、南部の全ての校区や利用者にも説明し意見聴取すべきだがどうか。

答 市南東部の小学校区への説明は同計画策定時にパブリックコメントにより、意見聴取している。

本会議



松本 京子
(公明党)

ヒアリングフレイルについて

問 聴力簡易チェックアプリ、聞こえに関するチェックシートなどの導入に対する市の考えは。

答 簡単に聴力機能に気づき、適切な受診、補聴器購入等につながるよう、アプリやチェックシートの活用等、聴力機能低下を早期に見出すための周知、啓発について検討していく。

带状疱疹ワクチンについて

問 定期接種化に向け市の考えは。

本会議



後藤 太平
(公明党)

路上飲酒について

問 大和田駅周辺で路上飲酒する人が目につくようになっており、地域からは「見た目が悪い」「治安に影響する」との声がある。

本市も「住みたいまち・住み続けたいまち」と多くの人に選んでもらえるような環境整備が必要と考えるが、市の見解は。

答 行為自体は法に抵触するものではないが、ごみの放置や騒音等のトラブルなどにつながる可能性があること認識している。関係部局等と連携して市域の良

対応できるよう、予算措置に係る情報収集や周知等の準備に努める。

スクールロイヤーについて

問 単年度でなく継続して実施すべき事業だと思うが、市の考えは。

答 子どもの最善の利益のために、法的な観点から学校や教育委員会への支援・助言を行うスクールロイヤーの必要性はますます高まり、必要不可欠なものであるため、継続実施すべき事業であると考えている。

公文書管理について

問 永年文書の見直しや公文書の電子化について、市の考えは。

答 3年度に永年文書の見直しを行い、6年度も見直しを予定する。公文書の電子化と保存年限の見直しは、引き続き検討、調査する。

改正住宅セーフティネット法について

問 高齢者や障がい者等の住宅確保要配慮者に対する市の取組は。

答 府設置のOsakaあんしん住まい推進協議会へ参画し、居住の安定確保の取組を進めている。相談等がある場合は、同協議会が運営するあんぜん・あんしん賃貸検索システムや支援法人を紹介するなど適切に対応を行っている。

問 市宮住宅に入居希望の住宅確保要配慮者への取組は。

答 一定戸数の福祉世帯向け枠を設定して募集するとともに、応募割れた住戸については、入居機会が損なわれないよう、先着順で随時募集を実施している。

本 会 議



岡本 宗城
(公明党)

門真南駅1号出入口付近の
エレベーター設置について

問 安全で快適な同駅周辺地区の
やさしいまちづくりを進めるに当
たり、市民からの要望も多い同駅
1号出入口付近のエレベーター設
置について、市の見解は。

答 平成28年に大阪モノレールの
南伸が府において決定した際に、
第二京阪道路北側の低未利用地に
おいて、まちづくりに向けた勉強
会等、地元関係者らと協議を進め、
その中でエレベーター設置の検討
を行ったが、当時は、まちづくり

本 会 議



大倉 基文
(大阪維新の会)

古川橋北エリアについて

問 工事車両の通行による事故等
に不安があるが、スケジュールは。

答 7年度に生涯学習複合施設、
8年度にタワーマンシヨンの完成
を予定し、その後、交流広場等の
整備工事も本格化する予定であり、
安全第一で進めていく。

問 一部未達成の幸福東土地区画
整理事業区域の予定は。

答 仮換地の使用収益開始後、土
地利用が進んでおり、道路、公園
等の公共施設整備が完成した際に
は、新たな魅力創出やエリア価値

本 会 議



福田 英彦
(日本共産党)

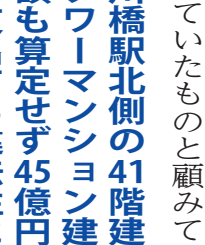
請負事業者からの当選祝い受
け取りに対する違法性の認識
と市長の責任について

問 請負事業者からの市長の当選
祝い受け取りの違法性の認識は。
答 政治資金規正法及び公職選挙
法に抵触するおそれがあるものと
認識している。

問 市長への寄附に対する職員任
せの対応は許されない。市長は責
任をどのように認識しているのか。

答 秘書課に送られてきたもので、
一定市で対応すべきと認識してい
た。丁寧な説明、明確な指示が不

本 会 議



福田 英彦
(日本共産党)

古川橋駅北側の41階建ての民
間タワーマンシヨンの建設に効
果額も算定せず45億円の助成
金を支出する違法性について

問 効果額を算定せず民間タワ
ーマンシヨンの建設への45億円の助成
金支出は地方自治法、地方財政法
違反ではないか。

答 法は自治運営の基本原則等を
表現したもので、本市の課題解決
に必要かつ国の補助金活用で負担
の最少化が図られ違法ではない。

問 45億円を支出する事業であり
効果があるのなら、どのように市
民周知するのか。

本 会 議



内海 武寿
(公明党)

北島西・北周辺土地の
借地単価や売却単価について

問 同土地区画整理事業計画概要
には、経済条件の想定として、保
留地処分単価及び売却単価を1㎡
11万5000円以上、概算平均減
歩率を約25%、借地料を坪/月1
000円以上、定期借地方式で20
年以上としている。経済条件は、
いつ各地権者に対し決定するのか。

答 業務代行予定者によると、保
留地処分単価や平均減歩率は、同
土地区画整理組合設立の際に決定
され、また、売却単価や借地単価

本 会 議



五味 聖二
(大阪維新の会)

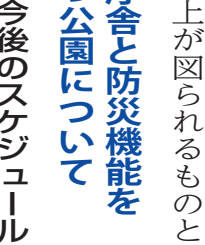
乗合タクシーの運行区域拡大
について

問 6月からの区域拡大後の利用
状況は。

答 利用対象者を全市域の高齢者
や障がい者等としたことや、事前
の利用登録制をなくし、マイナ
ンバーカードの提示等で利用がで
きるようになったこともあり、月平
均利用者数は303人と、約74%
の増加となっている。

問 バス路線が廃止、縮小してき
ているが、バス利用者は目的が定
まっており乗降客に変化はない。

本 会 議



五味 聖二
(大阪維新の会)

新庁舎と防災機能を
持つ公園について

問 今後のスケジュールは。

答 6・7年度に基本計画策定、
8・9年度に基本設計・実施設計、
11年度に建設に着手、13年春に新
庁舎開庁、14年春に庁舎エリア全
体のランドオープンを目指す。

問 想定災害に対する検討は。

答 極端な降水の発生頻度や降雨
量が増え、排水、治水施設の処理
能力を超えた被害の可能性の増大
や、南海トラフ巨大地震等の発生
が危惧されている。

本 会 議



五味 聖二
(大阪維新の会)

乗合タクシーの運行区域拡大
について

問 6月からの区域拡大後の利用
状況は。

答 利用対象者を全市域の高齢者
や障がい者等としたことや、事前
の利用登録制をなくし、マイナ
ンバーカードの提示等で利用がで
きるようになったこともあり、月平
均利用者数は303人と、約74%
の増加となっている。

問 バス路線が廃止、縮小してき
ているが、バス利用者は目的が定
まっており乗降客に変化はない。

本 会 議



福田 英彦
(日本共産党)

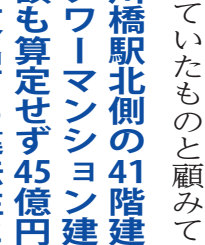
請負事業者からの当選祝い受
け取りに対する違法性の認識
と市長の責任について

問 請負事業者からの市長の当選
祝い受け取りの違法性の認識は。
答 政治資金規正法及び公職選挙
法に抵触するおそれがあるものと
認識している。

問 市長への寄附に対する職員任
せの対応は許されない。市長は責
任をどのように認識しているのか。

答 秘書課に送られてきたもので、
一定市で対応すべきと認識してい
た。丁寧な説明、明確な指示が不

本 会 議



福田 英彦
(日本共産党)

古川橋駅北側の41階建ての民
間タワーマンシヨンの建設に効
果額も算定せず45億円の助成
金を支出する違法性について

問 効果額を算定せず民間タワ
ーマンシヨンの建設への45億円の助成
金支出は地方自治法、地方財政法
違反ではないか。

答 法は自治運営の基本原則等を
表現したもので、本市の課題解決
に必要かつ国の補助金活用で負担
の最少化が図られ違法ではない。

問 45億円を支出する事業であり
効果があるのなら、どのように市
民周知するのか。

にほんごがわからないひとへ

カタログ ポケット

Catalog Pocket

10言語対応の「議会だより」をデジタルブックで配信しています。

You can read "kadoma council News" in 10 languages by the application.

■ iOS版

App Store

からダウンロード

■ Android版

Google Play

で手に入れよう

■市政に対する一般質問の要旨（通告順）

岡本 宗城（公明党）

- 1 門真南駅周辺地区について

五味 聖二（大阪維新の会）

- 1 小規模乗合型輸送システムいわゆる乗合タクシー事業について

片平 恭子（大阪維新の会）

- 1 門真南ルートワゴン型バス、乗合タクシーについて
2 子どもの見守り体制について

内海 武寿（公明党）

- 1 北島西・北地区のまちづくりについて
2 門真市営住宅について
3 産業振興について

後藤 太平（公明党）

- 1 路上飲酒について
2 改正住宅セーフティネット法について

松本 京子（公明党）

- 1 ヒアリングフレイル対策について
2 地域共生社会について
3 带状疱疹ワクチンについて
4 チーム学校の取組等について
5 公文書管理について

寺西 敬子（公明党）

- 1 教員の環境改善の取組について
2 門真市立四宮小学校・北巣本小学校統合整備基本計画について

池田美佐子（公明党）

- 1 若者への定住促進支援について
2 市民サービスの向上について

福田 英彦（日本共産党）

- 1 請負事業者からの当選祝い受け取りに対する違法性の認識と市長の責任について
2 古川橋駅北側の41階建てタワーマンション建設に効果額も算定せず、45億円の助成金支出の違法性について
3 門真市駅前の再開発の区分所有者のリスクと特定業務代行者との関係について

吉水 志晴（大阪維新の会）

- 1 門真南ルートワゴン型バスについて

深井 弘晃（真政会）

- 1 スマートシティ推進について

森 博孝（真政会）

- 1 ふるさと納税について

大倉 基文（大阪維新の会）

- 1 古川橋駅北エリアについて
2 新庁舎と防災機能を持つ公園について

大西 康弘（真政会）

- 1 シニアカー（ハンドル型電動車椅子）について

坂本大次郎（公明党）

- 1 窓口対応について
2 マイナンバーカードについて

坂本 拓哉（大阪維新の会）

- 1 市内の路上喫煙禁止区域の現状について

豊北 裕子（日本共産党）

- 1 門真市公共施設再編計画について
2 ヘルメット購入補助制度について

■各常任委員会の所管事項に対する質問の要旨（通告順）

●総務建設常任委員会

寺西 敬子（公明党）

- 1 石原町・大倉町地区のまちづくりについて
2 古川橋駅まちなかウォーカブル推進事業について
3 大和田駅前整備事業について

吉水 志晴（大阪維新の会）

- 1 古川ごみ・水草等について

内海 武寿（公明党）

- 1 乗合タクシーについて

岡本 宗城（公明党）

- 1 千石西町住宅への移転等について
2 市長選挙後の当選祝いについて

大西 康弘（真政会）

- 1 府道八尾枚方線の自転車通行空間整備について
2 市道岸和田守口線の門真団地入口交差点について

滝井 稔元（大阪維新の会）

- 1 市長選挙について

●民生水道常任委員会

後藤 太平（公明党）

- 1 障がい者福祉センターについて
2 介護保険料の上昇抑制と今後の介護予防事業について

五味 聖二（大阪維新の会）

- 1 リユースの促進に関する民間事業者との連携協定について

大倉 基文（大阪維新の会）

- 1 ふるさと門真まつりについて

深井 弘晃（真政会）

- 1 気軽に利用できるスポーツ施設について

福田 英彦（日本共産党）

- 1 生活保護の扶養照会の現状と改善について
2 市隣接の民間ごみ処理施設整備による影響と対応について
3 高い介護保険料とくすのき解散に係る諸問題について

●文教こども常任委員会

松本 京子（公明党）

- 1 部活動地域移行について
2 万博について
3 給食棟のエアコンについて
4 学校適正配置審議会について

片平 恭子（大阪維新の会）

- 1 不登校対策について
2 プログラミング教育について

豊北 裕子（日本共産党）

- 1 四宮小学校・北巣本小学校統合整備基本計画について
2 タブレットの共同調達（公立学校情報機器共同調達）について
3 2025大阪・関西万博、児童・生徒招待事業について



第3回定例会で審議した案件と議決結果			会派名	公 明 党							大阪維新の会						真政会				日本共産党		議決結果		
			議員名	寺西敬子	坂本大次郎	池田美佐子	松本京子	後藤 太平	岡本 宗城	内海 武寿	片平 恭子	坂本 拓哉	吉水 志晴	滝井 稔元	大倉 基文	五味 聖二	今田 哲哉	深井 弘晃	大西 康弘	池田 治子	森 博孝	豊北 裕子		福田 英彦	
議案番号	議案名																								
報 告	報告第6号	令和5年度門真市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	議決不要
専決処分	承認第8号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度門真市一般会計補正予算（第5号）について）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	承認第9号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度門真市一般会計補正予算（第6号）について）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	承認第10号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度門真市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
条 例	議案第60号	市長等の退職手当の支給額の特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第61号	門真市附属機関に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第62号	門真市立図書館条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第63号	門真市国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第64号	門真市立幼保連携型認定こども園条例の一部改正等について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第65号	門真市立市民交流会館条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第74号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他の案	議案第56号	（仮称）門真市立生涯学習複合施設整備工事請負契約の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第57号	動産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第58号	大阪広域水道企業団規約の一部変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第59号	大阪府後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
	議案第72号	動産の取得について（追認）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第73号	動産の取得について（追認）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	議案第66号	令和6年度門真市一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
	議案第67号	令和6年度門真市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第68号	令和6年度門真市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第69号	令和6年度門真市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第75号	令和6年度門真市一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人事案件	議案第70号	教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	同意
	議案第71号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
決算案件	議案第54号	令和5年度門真市水道事業剰余金の処分について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	継続審査
	議案第55号	令和5年度門真市公共下水道事業剰余金の処分について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	継続審査
	認定第1号	令和5年度門真市歳入歳出決算認定について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	継続審査
	認定第2号	令和5年度門真市水道事業会計決算認定について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	継続審査
	認定第3号	令和5年度門真市公共下水道事業会計決算認定について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	継続審査

※表の見方 『○』は賛成、『×』は反対。会派名は大会派・公党順、議員名は議席順。

議 会 活 動 日 誌（令和6年8月1日～10月31日）

- 8・

20 大阪府市議会議長会総会・研修会

29 議会運営委員会

9・

5 議会運営委員会
本会議（第3回定例会開会）
決算特別委員会

9 総務建設常任委員会

10 民生水道常任委員会

11 文教こども常任委員会

13 議会運営委員会

24 議会運営委員会
本会議（第3回定例会閉会）
- 10・

4 近畿地方治水大会

7 決算特別委員会

11 近畿市議会議長会議長研修会

15 決算特別委員会

21 決算特別委員会

29 東部大阪治水対策促進議会協議会総会

30～31 総務建設常任委員会管外行政調査

